

**(主)出雲三刀屋線
伊萱工区 道路改良事業**

事業説明資料

路線の概要

路線の概要

■主要地方道 出雲三刀屋線は、国道9号交差点（出雲市大津町）を起点として国道54号交差点（雲南市三刀屋町）に通じる延長15.7kmの幹線道路で、沿線地域の産業・経済・観光・地域住民の生活安定に大きな役割を担っています。



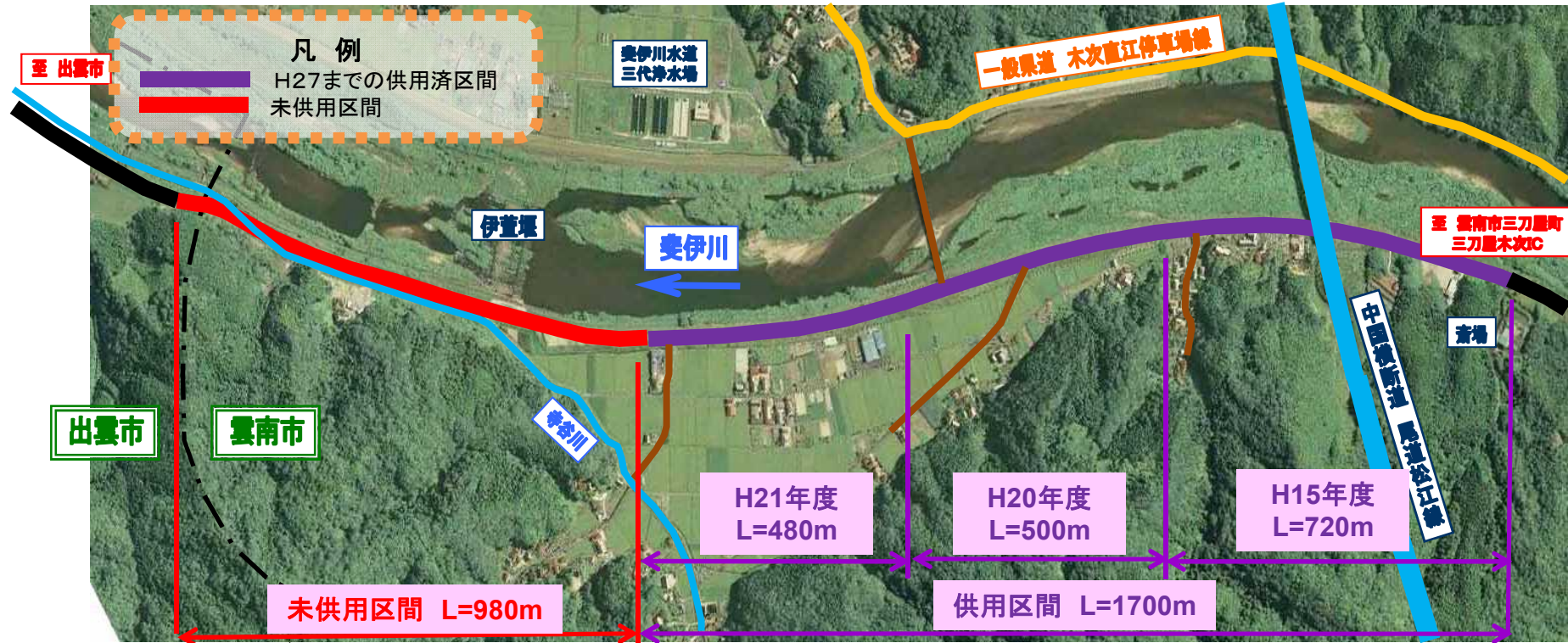
事業概要

■伊萱工区の概要

1. 年々増加する交通量に対応するため、安全で快適に通行できる「道路線形の改良」及び「道路幅員の拡幅」
2. 生活圏中心都市(出雲市)へのアクセス向上、出雲市からの三刀屋木次ICへのアクセス向上による人と物流の活性化を図る
3. 雲南市から島根大学医学部附属病院や県立中央病院などの救急医療施設へのアクセス改善



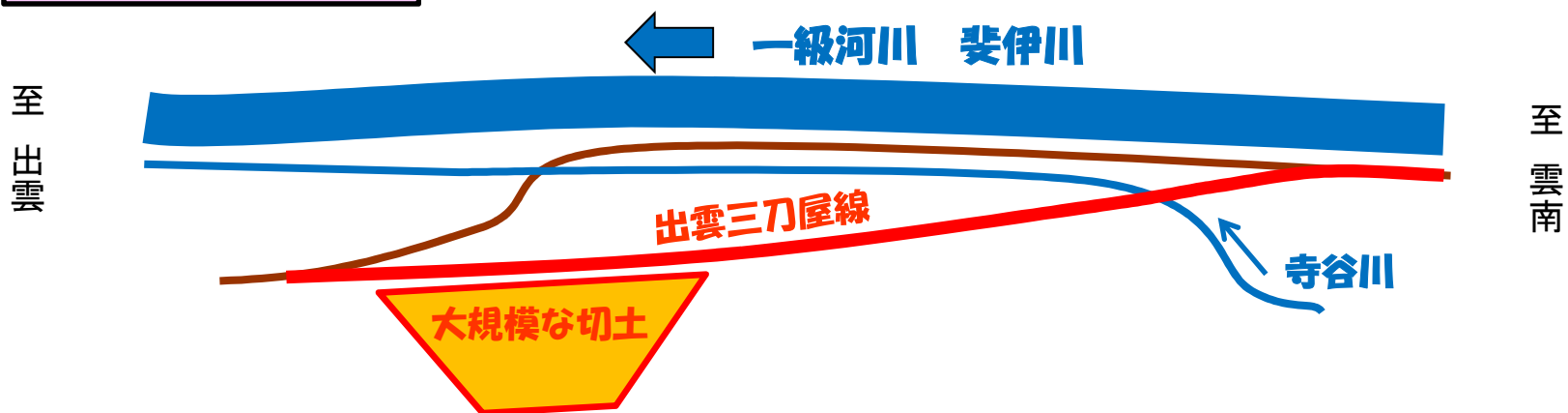
整備状況



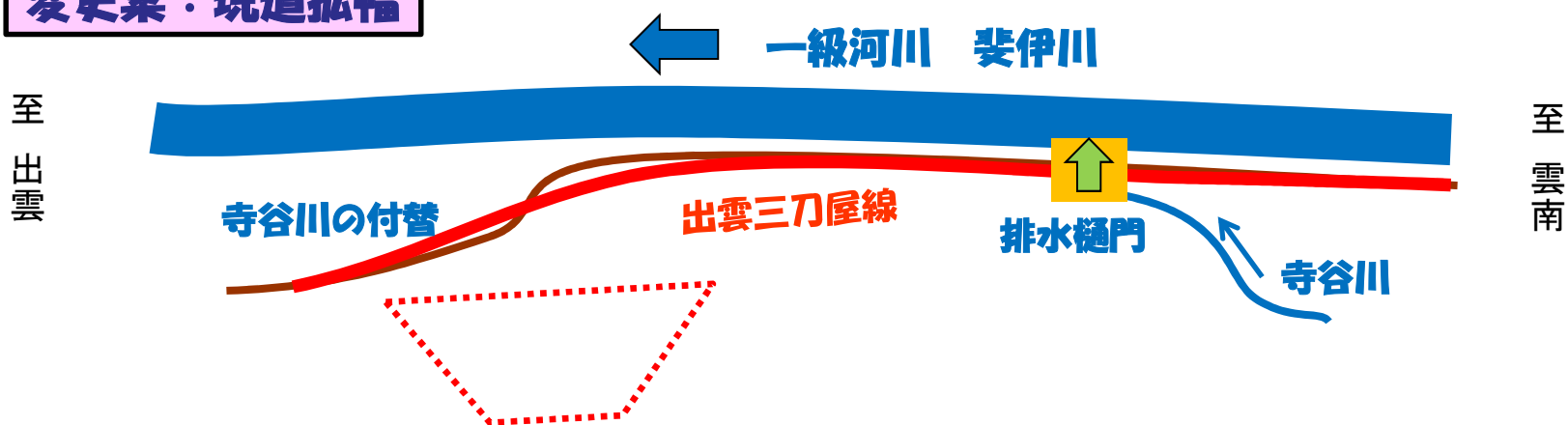
事業経緯	事業採択年度	平成9年度	事業費ベースで73%の進捗
	用地着手年度	平成12年度	全区間契約済み
	工事着手年度	平成13年度	工事費ベースで64%の進捗
	計画見直年度	平成22～25年度	計画の見直し・関係機関協議等
	工事再開年度	平成25年度	寺谷川樋門工事(H26～H29)
	完成予定年度	平成32年度	1. 7kmを供用済(平成28年6月末現在)

見直しの概要

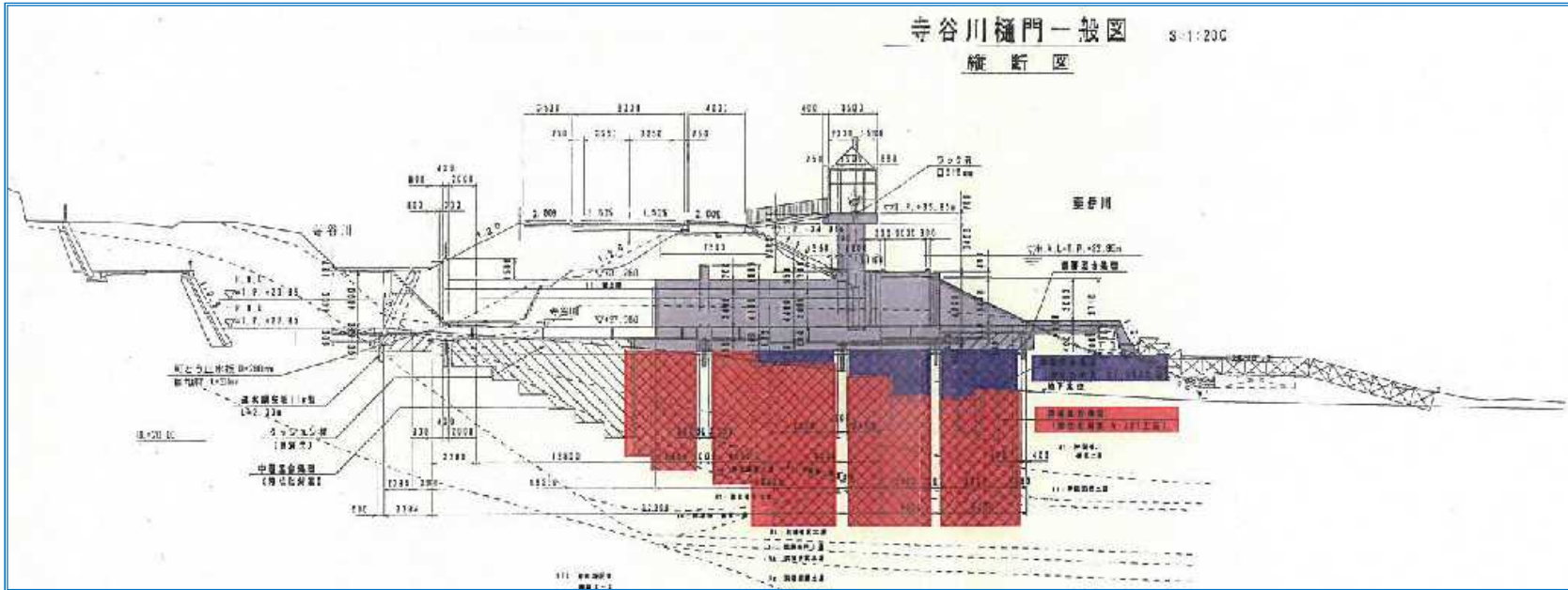
現行案：バイパス



変更案：現道拡幅



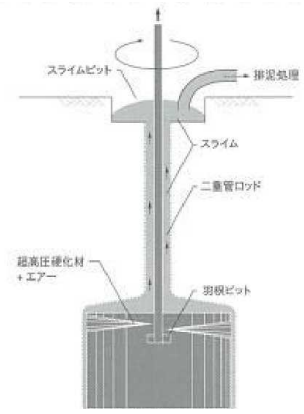
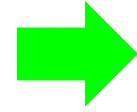
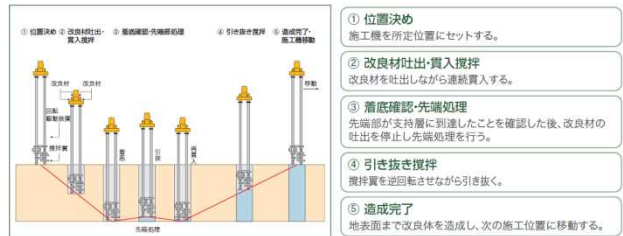
見直しの概要



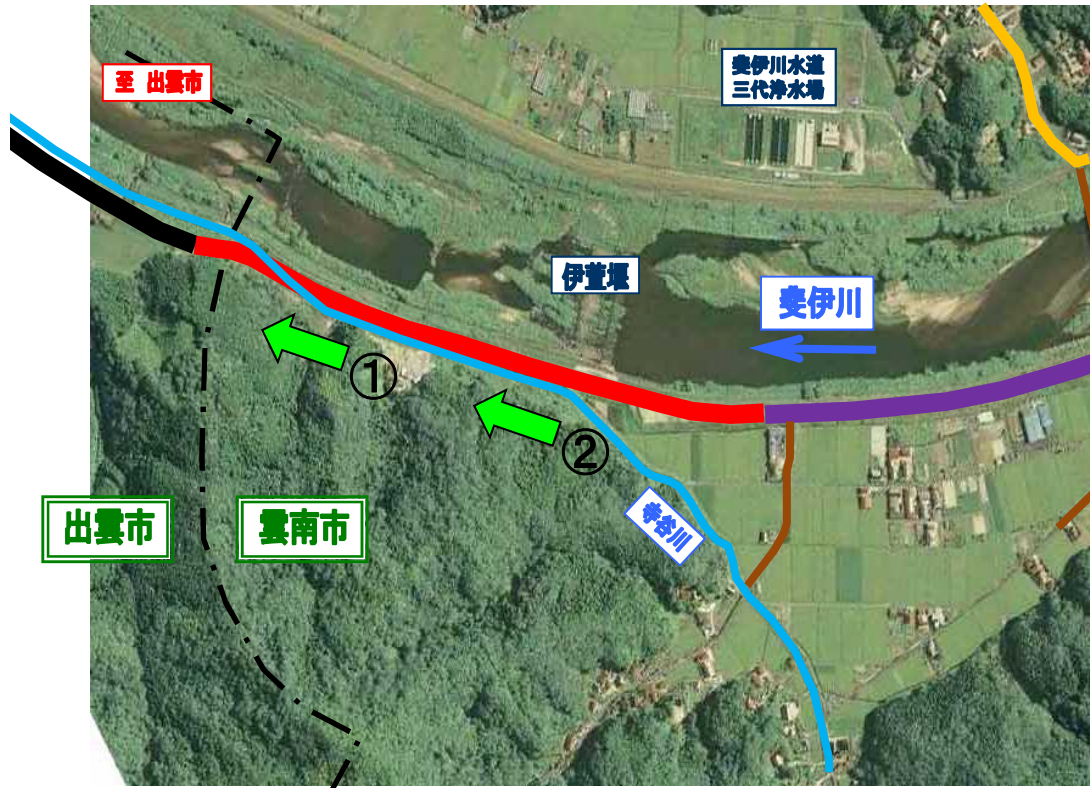
スラリー攪拌工法



高圧噴射攪拌工法



現況写真①(起点側)



起 点 側

現況写真②(終点側)



終 点 側

整備効果

- ・幅員の広い道路による円滑な交通の確保
- ・緊急時の輸送路・避難路の確保
- ・線形不良箇所の解消による交通事故の低減

交通状況



線形不良



対応方針(案)【継続】

これまで、計画延長2.68kmのうち1.70kmを供用済みであり、全線開通を目指して整備を進めている。

産業・経済・観光の発展や、救命救急センターのある島根大学医学部付属病院等への最短ルートとしてアクセス改善が期待され、事業の必要性は高まっている。

残る起点部の線形不良箇所を改善し、一日も早く整備効果を発現するためにも事業の継続が必要。